

耳よりお得情報！！

補助金を使って賢くリフォームを！

平成27年度補正予算により、経済産業省の主体で「住宅省エネリノベーション促進事業費補助金」制度が発表されました。



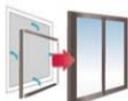
制度の目的と概要

この事業の目的は、住宅の省エネ化を図るリフォームを促進するため、**高性能な窓、サッシ、断熱材等**を用いた住宅の断熱リフォームを支援するというものです。

また戸建住宅においては、断熱改修と同時に高性能な家庭用設備（エコジョーズ、エコキュートなどの給湯設備等）を入れ替える場合、この導入費用も補助の対象となります。



ガラスの交換



窓の取替え



天井・壁・床等の断熱改修



高効率給湯設備



予算額 100.0億円（予算枠消化次第中止）



その他

補助金の額等、詳細につきましてはお気軽に当店までお問い合わせ下さい。

〒234-0051 横浜市港南区日野5-1-11

地域の皆様のホームドクター

上大岡店

TEL 045-844-5531

三井のリフォーム（京浜マイホームサービス株式会社）



三井のリフォーム 上大岡店
〒234-0051
横浜市港南区日野5-1-11
電話 045-844-5531

ご挨拶



ようやく寒暖の差も激しかった時期を過ぎ、穏やかな日々が訪れましたが、皆様におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？

この時期は、新しいことが色々始まる時期ですが、リフォームにも最適な時期になります。

外壁を変える、壁紙を変える・・・。たったそれだけでお住まいも衣替え。生活も新しいものに変わります。

また耳よりお得情報にも書きましたが、今、補正予算が組まれ、経済産業省で「住宅省エネリノベーション促進事業」が行われています。

これは住宅の省エネ化を図るリフォームを促進するため、断熱リフォームについて補助金が出るもので、これに合わせて高性能な給湯設備に入れ替える際の購入費用にも補助が出る内容です。

夏の暑さ対策をお考えのお客様は、今がチャンスです。

詳しくはお店までお気軽にお問い合わせください。

季節の四文字熟語

長らくご愛顧いただきました「旬の食材」から、装いも新たに季節の四文字熟語をご紹介しますコーナーに生まれ変わりました。引き続きのご愛顧をよろしく願致します。

さて第一回の春の四文字熟語は、、、

一陽来復（いちようらいふく）

長く続いた寒い冬が去って、陽に包まれる暖かい春が訪れることをいいます。また新年が来るという意で使うこともあります。

本来の意味は悪い事が続いたあと、ようやく良い方向に向かい始める事。

「一陽」は、初めて生じた陽の持つ気のことをいい、「来復」は、一度去ったものが再び戻ることを意味します。

もともとは陰暦の十一月、もしくは冬至をさす言葉で、易上では、陰暦の十月は「陰気」で満たされる冷たい月であり、十一月の冬至を迎えると陽の持つ気が再び回復し、物事が好転するといわれています。



知得(しとく)上手リフォーム術(優しい編)



知って得する上手リフォームについてのお話です。

上手なリフォーム5つのポイント!



1. 『安全』

いかに安全に毎日の生活を楽しむか・・・

安全装置付きのIHコック、ガス灶などで安全簡単な料理作り。

2. 『お得』

どうしたら安くリフォームができるか・・・。さまざまな補助金、減税制度が実施されています。賢く使ってお得なリフォーム。

3. 『優しい』

いかに地球にも、お財布にも優しい生活を過ごすか・・・

太陽光発電など自然エネルギーを利用した機器を。

4. 『快適』

夏の暑さ、冬の寒さから解放された快適な毎日を・・・

ペアガラスなどで住まいの断熱化を。

5. 『安心』

新建築基準法以前のお住まいの耐震は・・・

筋かいの補強、構造用合板でしっかりとした耐震改修を。

住まいの『優しい』Part. 2

身体に優しいお住まい

前回からは、住まいの「優しい」編のお話をしています。今回は「身体に優しい」をテーマに考えてみたいと思います。「家庭内事故」という言葉があります。これはお住まいの中で発生する不慮の事故のことです。運悪く事故死につながってしまうケースも少なからずあり、厚生労働省発表によると家庭内事故死者は年間1万人以上と、交通事故死に迫る勢いで増加しています。特に65歳以上の方に限って言えば、交通事故死の実に1.5倍もの方が家庭内事故が原因で亡くなりになっています。

また、運良く死には至らないとも家庭内で負傷した人は推定で年間40万人前後とも言われており、決して他人ごとではない状況となっています。また事故と同時に、お住まいの中でどうしたら事故を防げるかが、身体に優しいお住まい造りに一番近い早道だと思います。

家庭内死亡事故の割合

死亡原因	2010年厚労省調べ	
	総数	0-14歳 割合(%)
転倒・転落	14,249	234
転倒・転落	2,656	35
スリッパ・つまずき・よけ足による足裏よりの転倒	4,532	2
階段・ステップからの転倒及び転落	4,276	0
建物・建具・家具からの転落	398	27
不慮の溺水・水死	4,340	39
浴槽での溺死・水死	3,817	97
浴槽への転落による溺死・溺水	32	0
不慮の墜落(建物)	1,143	111
階段・ステップを介した食物の誤入	2,942	21
胃内容物の誤入	674	35
乳歯脱落を介したその他物の誤入	2,230	8
煙火のやけど	1,159	43
建物の管理されていない穴によるやけど	1,048	43
洗面台の排水口から発生した湯気によるやけど	107	2
風呂ふたの閉まり	56	0
脱衣所の熱湯との接触	81	0
浴室暖房による浴室の温度上昇及び湯気によるやけど	473	0
バス・トイレの排水口から発生する湯気によるやけど	109	0
洗面による水の中での窒息	70	0
その他	1,861	8

注:転倒・転落は転倒・転落を省き、また死因の内訳は主目的のみ記載のため、総数とは合算せず。

①家庭内事故を防ぐ

家庭内事故を防ぐ方法の一番の早道は、事故の要因となるモノを家の中から無くすることです。

先ず家庭内で最も多く事故が発生しているのが浴室です。「お風呂で溺れる・・・」そうお考えかも知れませんが、高齢になると一度溺れたバランスを元に戻すのが非常に難しくなります。そのために滑らないように、浴槽を滑りにくい加工処理がされたものに替え、あわせて洗い場の床も滑りにくいモノに替えておきましょう。また立ち上がる時、浴槽に入る時などにしっかりとつかまることのできる手すりの設置も重要です。

また家の中でつまずいて転倒をしないように、家中から段差を無くし、滑りやすい床や階段の素材を滑りにくいモノに替えて、転倒しそうなときにしっかりとつかまることのできる手すりや階段、廊下に設置することも大きな事故を防ぐには大切な対策です。

お客様で怪我をされた皆さんが、「私だけは大丈夫。」と思っていちゃったと言われます。ご高齢者の転倒は死亡事故に至らない場合でも、後の生活に大きな影響を与えます。

健康・健全に楽しく老後をご過ごすためには、家の中にも「転ばぬ先の杖」が非常に大切だということを確認しておきましょう。



②お住まいの環境を整える

そももう一つ、健康・健全な生活を過ごすために必要なことが、「お住まいの環境を整える」ということです。

年齢を重ねるにつれ、周囲の温度、喉の渇きなどを感ずる体感性が下がってきます。この結果、室内が高温になっているにも関わらず、その状況を感じることができず、昨今騒がれている「家庭内熱中症」等でも倒れてしまうこととなります。

これを防ぐためにはこまめに水分を摂ることももちろんですが、お住まいの中が高温にならないようにしっかりと断熱の対策を立てることが大切です。このことは冬の寒さ対策にも重要です。近頃「ヒートショック」という言葉を聞かれたことがあると思います。断熱処理が弱いお住まいは、居間・寝室とトイレ・浴室等の温度差が大きくなり、トイレや脱衣所に入った際に温度差によって心筋梗塞や脳溢血を起こしてしまうという事例が増えています。

このように断熱ということとは、冷やす・温めるということにかかるとは経費の削減だけではなく、身体を守るという健康の面からも非常に大切な要素となるわけです。ぜひ「健康な住まいづくりを通して、健康を守る。」というところをお考えいただきたいと思います。

